

① 団体の組織概要

- 代表者名 近藤 こよ美
- 団体の所在地 〒770-8055
徳島市山城町東浜傍示28-53
- 設立時期 (NPO 法人認証年月日) 平成14年6月18日
- 活動区分
 - 環境学習・環境教育の実施
 - 地球温暖化防止活動
 - 自然環境保全
 - その他、環境保全及び環境改善に関する活動
- 団体の活動目的 私たちは吉野川の環境を守る運動を進める中で上流の森の重要さを知りました。森から流れ出た水が川となり私たちの生活を潤し、やがて海へと帰っていく。この大きな循環の中で、私たちが生きていることに改めて気がついたのです。日本の木材自給率は3割を切っています。山の木は使われぬまま手入れもされず、日本の森の荒廃は止みません。保水力のある豊かな森を取り戻すため、流域に住む私たちができることは、木の文化を蘇らせることです。私たちの住む町を流れる川の上流の森の木を使って家や家具をつくり、その良さを広めること。川上と川下がお互いに顔の見える関係でつながり、川上の方が育てた木を川下の私たちが使うシステムを築き上げることが重要です。
- 活動頻度 シンポジウム、セミナー、住宅見学会、源流の森ツアーなど、年6回程度の活動
- 主な活動場所 徳島市、吉野川源流域(高知県嶺北地域)
- 会員数 70人 (平成23年10月1日現在)
- 会費 年3,000円
- 入会方法 事務局(連絡先)に入会申込みをお知らせください。
- ホームページアドレス <http://www.enjoy-satoyama.jp/>
- 連絡先
 - ◇連絡担当者 野口 政司
 - ◇電話番号 088-655-1616
 - ◇FAX 番号 088-655-1632
 - ◇メールアドレス info@enjoy-satoyama.jp

② 主な活動紹介

●活動状況

■森とまちを結ぶ



吉野川の上・中・下流の各地域で生活する人たちが、森・川・海の自然循環の営みの中で生きていることを知り、その輪を広げていくために、吉野川源流の森ツアーを毎年行います。上流の森を歩きながら、森の大切さや森を守るために上流と下流が連携していくことを学びます。

■木をつかおう



森を保全し緑のダムとしての機能を高めるためには木を使うことが必要です。

吉野川源流域の森の木を使った‘里山の家’や‘里山のかぐ’をつくることで、源流の森を守っていきます。

構造見学会や竣工見学会を開き、「木をつかう」ことで森と共生できることを伝えています。

■かしこい住まい手に



森や風景、住まい、まちについてセミナーやシンポジウムで学び、健康で安心して住める美しいまちをつくります。

平成23年は、国際森林年を記念して高知県梶原町の元町長の中越武義さんを講師に、シンポジウム「森との共生ーゆすはらの挑戦～自然エネルギーでまちづくり」を開催しました。

●定期刊行物等

会報「里山の風にかかれて」年4回発行

●メッセージ、PR

HPでセミナー等の予告や報告をしています。HPをご覧ください。